

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401353
事業所名	グループホーム名古屋尾崎山の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 運営推進会議のメンバーでもある民生委員の橋渡しで、地域の小学校からは運動会やふれあい給食会へのお招きを受けることができています。ふれあい給食会は、小学校が地域のお年寄を招いているもので、事業所の利用者が地域の皆さんと変わらぬ厚遇を受けていることが覗えるエピソードです。踊りや歌、紙芝居のボランティアもこれまで通り定期で訪れており、本年は行事の際に社会福祉協議会の情報からピックアップしたギター演奏が新たに加わっています。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 本年度の運営推進会議は6回の内2回を法人内の別事業所と合同で実施しています。他の事業所が加わることで法人としての姿勢も浮き彫りとなり、家族からも「取組みがより理解できた」との声も聞かれ功奏しており、来年度も「年1回はおこないたい」としています。また毎月2回の訪問診療に足を運んでくださる協力医師のミニ講座も昨年に引き続き実施され、気さくに「いつでもいいよ」と言ってもらえ、助けられています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護者を6名受入れています。管理者も区役所保護係には毎月出向いており、また保護係も年1回は事業所を訪問くださっています。また本年度初めての試みとした合同の運営推進会議では、当事業所が(緑区)南部地域の地域包括センター担当であり、もう一方の事業所が(緑区)北部地域の地域包括支援センター担当だったことから、普段は会うことのない地域包括支援センターと新たに面識をもつ機会に至っています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「電話があると何かあったのでは?、と驚くのでやめて欲しい」といった家族以外には、利用者本人の状態変化があれば都度速やかに電話を入れており、毎月の請求書を事業所に取りに来てもらえる機会には、1ヶ月の様子を綴った手紙も渡しています。10年近く此処で暮らし本年旅立ちの日を迎えた利用者の家族は、葬儀後に事業所を訪れて、職員一人ひとりに向け胸が熱くなるような感謝の言葉で労ってくださった、とのエピソードには親交の深さが伝わります。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎